

なく、各国のそれを維持しようとする国際的金融協力による金管理によって — いいかえれば世界資本主義諸国の管理通貨体制維持の必要によって保たれているのである。

〔 所 報 〕

- I 昭和40年度春季定例所員総会を、6月8日、午後1時30分より神田第二会議室で開催。
- (A) 総会議事日程に入る前に内田義彦第一部長(山田盛太郎所長病気のため代行)の司会で、部長改選の件を確認、大島太郎、宮田三郎両選挙管理委員により、第1部、第2部、第3部の順序で無記名投票をおこなった。その結果、第1部長には内田義彦教授、第2部長には小林義雄教授、第3部長には小林良正教授がそれぞれ再選された。
- (B) つづいて、大会議事に入り、吉沢事務局長より、商学部佐々木亨講師、経済学部宮下誠一郎助手が新たに所員になられた旨報告があった。
- (C) ついで活動報告が吉沢事務局長(総括および決算報告)、ならびに加藤(幸)(『月報』編集)王垣(資料購入)両事務局委員よりおこなわれ諒承された。
- (D) さらに、新年度活動方針ならびに実行予算案(本年度・社研予算は170万円)について、吉沢事務局長より提案説明があり、グループ研究・個人研究および社研所員の業績発表について議論が活発に行なわれた。
- II(A) 本年度第1回運営委員会を5月11日午後2時より神田四階研究室で開催、a)運営委員会に阿部市五郎教授、森下澄男教授が加わる旨確認、b)春季所員総会を6月8日に開催することとし、c)総会準備とならんで、部長選挙も行うこととし、また学内他研究所との関連を明かにすべきだとの意見も提出された。d)グループ研究と社研活動の成果発表の形式についても考慮すべきだとする意見も提出された。
- (B) 第2回運営委員会は6月1日四階研究室で開催。議題は部長改選、グループ研究の再検討、年報および叢書発行の件。主として社研叢書の推進等について熱心な討議が行なわれ、来る総会の承認を経た上で緊急に具体化することになった。
- III(A) 第1回事務局会議が、4月27日午後2時より神田四階研究室で開催、春季総会準備と本年度活動計画を中心に、1)新年度予算(170万円)に伴う昨年度決算報告ならびに新年度実行予算案の作成、2)『月報』印刷所変更、3)資料購入状況および「分類方法」作成、4)新年度予算にもとづく活動方針の作成までにつき意見が交わされた。
- (B) 第2回事務局会議を5月11日午後1時より、神田四階研究室で開催、1)昨年度決算報告作成、2)社研活動方針案の検討などにつき報告があり、3)特に、今後の社研の活動業績発表につき意見が交わされた。
- (C) 第3回事務局会議を6月29日四階研究室で開催。主な議題は叢書(仮称)刊行の件と

個人研究募集の件。叢書刊行の件については今年度中に第1回刊行をおこなうことを目途に次の通り叢書刊行委員をえらび、早急に具体化することになった。叢書刊行委員（仮称）は次の通り、吉沢芳樹、望月清司、宮田三郎、玉垣良典、栗木安延、加藤佑治。個人研究については、原則として補助金は2年間の継続とし、研究成果は社研叢書（仮称）として発行する。

なお、この募集を葉書でおこないぬ切を7月20日とする。なおこの審査のための会合を7月21日頃に開くことにきめた。

### < 編集後記 >

1. 永くふりつづいた雨もいよいよあがり、早くも本格的な夏となってしまったが、『月報』も暑さに負けず“夏休み”抜きで、7、8月号の発行に拍車をかけます。所員の皆さんもこの休みの成果をぜひ誌面に反映させて下さい。本号は打田、長両氏から力作をいただいた。両氏の見解に対する批判または感想をご投稿下さい。なお前号の所員業績中、誤りおよび脱落がありました。下記がその訂正したものです。執筆者ならびに読者におわび致します。

中村秀一郎 『経済政策入門』（野田稔氏との共著、有斐閣、40年3月）

森田 桐郎 『国際経済入門』（三一書房 4月刊）

2. 前号発行後の所員の発表業績はつぎのとおりです。

江沢 譲爾 「近代経済学の方法に関する若干の覚書」（『専修経済学論集』第1号）

西田 勲 「アメリカの貿易と貿易政策のうつりかわり」（ " ）

高橋七五三 「労働組織（労働力編成）と労働の原子性」（ " ）

森川喜美雄 「『資本論』における疎外と物象化について」（ " ）

内田 義彦 「封建のすゝめ」（『展望』6月号）

内田 義彦 「アダム・スミスの思想体系」（水田洋訳『スミス国富論 上』 解題  
〔世界の大思想14〕河出書房新社7月刊）

長 幸男 「渋沢栄一『青淵百話』」（『エコノミスト』7月6日号）

福島 新吾 「政治への期待と政治ざらい」（『教育』7月号）

ウォーターマン著  
志村 嘉一訳 『アメリカの資本市場』（東洋経済新報社 6月刊）

東京都千代田区神田神保町3の8

専修大学社会科学研究所 電話（265）6211〔内線53〕

（発行者） 山 田 盛 太 郎